



シンボルマーク

シルバーおやべ

第 51 号

令和4年 1月10日

公益社団法人
小矢部市シルバー人材センター
〒932-0826
小矢部市茄子島211番地
TEL (0766) 67-4804
FAX (0766) 67-5515
<https://oyabe-sjc.jp/>



恭賀新春
入十のえとら
壬寅元旦

出雲大社 神楽殿前にて



ヨシッ!

令和3年度 安全就業スローガン
あのヒヤリ 常に意識し 安全就業

菟波地区 谷 博道 会員

シルバー人材センター理念

シルバー人材センターは、

《自主・自立、共働・共助》

を理念とし、会員自らが運営に参画する組織です。

会員数 340名 (男性209名・女性131名) 令和3年12月31日現在



新しい成長の礎を築き、 魅力あるセンターを目指そう

理事長 柴田敏秋

新年あけましておめでとうございます。会員の皆さま、お仕事を発注いただいている皆さまには、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、法人設立30年という節目の年でありましたが、「コロナ騒ぎ」、「70歳就業法」などにより環境が激変し、入会者の高齢化と減少、退会者の増加、就業先の減少などの課題に直面した年でもありました。当センターは、専門委員会を会員増強・就業拡大委員会と広報・イメージアップ委員会に再編整備し、重要課題（会員増強、就業先の確保・開拓など）について、会員・役員による活発な調査、検討、意見交換、提言を行っていただいております。

また、コロナ騒ぎの中でも、30周年記念事業、研修旅行、総会、安全就業講習会など、地区懇談会を除くほとんどの事業を無事成功裡に実施することができました。これも、会員や役員職員の皆さまが創意工夫し、力を結集してコロナ下での実施に向けて尽力いただいたお陰であ

り、深く感謝申し上げます。今年は従来以上に充実した地区懇談会が企画されており、これを手始めに、コロナ下であっても、やり方を工夫し、全事業を着実に実施したいと願っております。

先の課題については、専門委員会において更なる意見集約を行い、できることから順々に具実策を実施することとしております。各職場、各地区、各作業班においても、活発に議論いただき、事務局や役員、専門委員会委員に提言いただければ幸いです。地域にとっても、小矢部市にとっても、会員にとっても、頼りになる、魅力あるセンターに向けて会員・役員力を合わせ、前進する年にしたいと存じます。

今年壬寅（みずのえとら）の年。厳しい冬を乗り越えて芽吹きが始まり、新しい成長の礎となる年であると言われます。関係の皆さまのご指導、ご支援、ご協力を賜りながら、しっかりと取り組んでまいりたいと存じます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

本年もよろしく
お願い申し上げます



| | |
|------|-------|
| 理事長 | 柴田敏秋 |
| 副理事長 | 中村利夫 |
| 専務理事 | 栢元剛 |
| 理事 | 横川和弘 |
| " | 高西久文 |
| " | 山口善嗣 |
| " | 忠田勉 |
| " | 谷博道 |
| " | 山元一豊 |
| " | 山田操 |
| " | 高田千里 |
| " | 田村栄子 |
| " | 長井忠昭 |
| " | 吉田外茂治 |
| " | 山野弘一 |
| " | 山田富雄 |



ごあいさつ

小矢部市長 桜井 森夫

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに令和4年の新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃より、市政発展に格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、施設管理等の行政サービスの一翼を担っていただいておりますことにも、深く感謝申し上げます。

昨年、法人設立30周年を迎えられた貴センタ―におかれましては、高齢者の「健康で生きがいのある生活の実現」と「地域社会の福祉の向上及び活性化」に向け、「自主・自立による運営、共働・共助による就業」の理念に基づき、就業機会の提供やボランティア活動などを通じて多大なるご貢献をいただいております。市民ニーズが変化する中で、空き家の見守りを始めとした時代に即したサービスを展開しておりますこと、今後も引き続き、市民生活における利便性をより一層高めるような取組を期待しております。

振り返りますと、昨年は、年明けから新型コロナウイルス感染症のほか、車両の立往生や集落の孤立が発生した「豪雪」、特産品の鶏卵生産に多大な影響を与えた「鳥インフルエンザ」と、まさに立て続けの難局に直面した幕開けで

した。不安は募るばかりではございましたが、このような中でも、東京2020オリンピック男子ホッケー競技における本市出身の山下選手や村田選手の活躍、メルヘンおやべ源平火牛まつり「源平たいまつパレード」の開催など、コロナ禍に立ち向かう気持ち盛り上がるような明るい話題もございました。

未だ終息の気配は見られませんが、市民の皆様に、安全でそして安心な生活を送っていただくためにも、しっかりとこのコロナ禍を乗り越えて行かなければいけないと、強く思っている次第でございます。

本市は、第7次総合計画に掲げる「魅力・安心・充実しあわせおやべ」、「心がやすらぐ健康とあたたかな福祉で支え合うまち」の実現に向け、市民の誰もが心身ともに健康に、ともに支えあう温かな福祉環境の中で暮らすことができるまちづくりを目指してまいりたいと考えておりますので、皆様方には、どうぞ今後ともご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴センターのさらなる飛躍と、会員皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

小矢部市への支援要請について

令和3年11月8日、小矢部市長桜井森夫様、小矢部市議会議長吉田康弘様に対し、当センター柴田理事長、中村副理事長、栢元事務局長が令和4年度の運営・事業費補助金の予算等の要望を行いました。



市長への要望



議長への要望

法人設立30周年記念式典開催

令和3年10月22日(金)午前10時～

令和3年10月22日(金)午前10時から、クロスランドおやべメインホールにおいて法人設立30周年を記念して「設立30周年記念式典」が挙行政されました。

柴田理事長の式辞の後、理事長、副理事長の要職を長年にわたり務められたお二人と会員として長く活躍されているお一人に対する表彰状の授与、会員の就業機会創出にご協力をいただいている発注者や地区連絡委員を3期以上務められた方々に感謝状が贈呈されました。

続いて、「来賓(桜井森夫小矢部市長、吉田康弘小矢部市議会議長、久世浩公益社団法人富山県シルバー人材センター連合会会長)それぞれからお祝いのことをいただきました。その後、受賞者を代表して、前理事長の東勲さんから感謝のことは述べられました。

記念式典終了後は第二部として、元北日本放送アナウンサーで現在フリーアナウンサーの相本芳彦さんから、「伝承」シルバー世代だから出来ることと、「富山弁のルーツや方言のよさなど、いつしか相本さんの話術に引き込まれていました。

記念式典に出席した会員からは、これからも小矢部市シルバー人材センターの会員として、就業を通して社会に貢献し、生きがいを見出そうという前向きな姿勢が感じられました。



来賓祝辞



理事長式辞



地区連絡委員



発注者の皆様

感謝状贈呈



特別表彰



設立30周年記念式典次第

- 一、開式のことば
- 一、式 辞
- 一、表彰状・感謝状贈呈
- 一、来賓 祝 辞
- 一、受賞者代表謝辞
- 一、閉式のことば



検温



受付風景



第二部 記念講演
相本芳彦氏

抽選会の模様



会員作品展

記念式典と同日、アートハウスおやべで会員作品展が開かれました。会員32名から、生け花、盆栽、絵画、写真、書、手芸、工芸品など、幅広い分野から95点に上る出品があり、ところ狭しと展示されました。丹精込めた力作揃いで、いずれも負けず劣らずの素晴らしい出来栄でした。来場者の評価は高く、式典に花を添えました。

委員会 だより

「安全管理委員会」「地区連絡委員会」、改編された「会員増強・就業拡大委員会」「広報・イメージアップ委員会」の今年度これまでの活動を報告します。

会員増強・就業拡大委員会

7月から5回の委員会を開催。「新規会員の獲得と連携強化」「就業機会の拡大」両面から、課題の整理と対応策を議論しています。

【検討事項】

- ・新規会員の獲得のための会員紹介カードの作成、ポイント制度の見直し
 - ・準会員制度づくりと会費割引制度の導入
 - ・女性会員対象の講習会の実施
 - ・新生活支援サービスなど独自事業の取組み
 - ・会員連携強化のためのシルバーショップの開催や地区懇談会の充実
- 検討事項を整理して、できることから順次実行していきます。



広報・イメージアップ委員会

6月から5回の委員会を開催。「シルバーおやべ」を発行するとともに、チラシやパンフレットの作成などシルバー人材センターの魅力向上・宣伝のための事業について議論しています。

【実施事項・検討事項】

- ・「シルバーおやべ」第50号（8月）、第51号（本号）の発行
- ・お仕事説明会チラシの発行
- ・会員加入促進用チラシ・発注者向けチラシの作成
- ・ホームページの見直し、その他センターのイメージアップにつながる事業実施



地区連絡委員会

今年度は、設立30周年記念事業もあり活動が多いのですが、これから地区懇談会に向けて、たくさんの会員が参加されるよう企画します。

- ・定時総会（5月）の出席の取りまとめや運営協力
- ・シルバーボランティア活動（10月）の活動協力
- ・設立30周年記念事業（10月）の式典運営や欠席者への対応
- ・地区懇談会（2月）実施の企画運営



安全管理委員会だより

安全管理委員会では「事故0」を目指して安全パトロールをはじめとする安全対策を進めてまいりましたが、いまだ道半ばといったところです。

本年は昨年以上に「事故0」を目指して活動していきたいと思えます。会員の皆様には本年も安全・適正就業にご理解とご協力をお願いします。



事故発生状況（令和3年4月～11月）

飛石によるガラス破損
（機械刈、植栽管理）
2件

転倒による打撲、骨折
（受付、清掃、屋外作業）
3件

ハチ刺され
（機械刈）
1件

三脚からの転落
（植栽管理）
1件

今年度は特に、転倒による事故が目立ちます。就業場所への移動中など誰にでも起こりうる事故です。周辺、足元には十分注意してください。

松沢地区 堀田 千恵子さん

- ① 退職後まだ健康であり、シルバーの各種講習会への参加と新たな職とお友達が出来ると思った。
- ② コロナが終息し、一日も早く元の生活に戻り自由に行動できる一年にしたいです。
- ③ 食生活「ま・ご・わ・や・さ・し・い」の食材の活用とタンパク質をとる。自分の身体に合わせ、無理せず行動する。沢山の方々と関わる社会参加(ボランティア・趣味のグループ等)
- ④ 自採り野菜、柿、梨
- ⑤ 家庭菜園、草花の世話

殖生地区 長井 忠昭さん

- ① 県の事務局にいるとき、シルバーさんに紹介され入会しました。今は陸上競技場で受付をしています。
- ② 営農組合の仕事もしており多忙な毎日ですが、健康に一番気を付けて一年暮らすことです。
- ③ 毎日ウォーキングをして健康管理をしています。
- ④ 好き嫌いなく、何でも食べるオールランドです。
- ⑤ パークゴルフ

殖生地区 山田 由紀子さん

- ① 友達から「シルバーの会員になれば、仕事もあるし皆さんとお話出来るから楽しいよ」と言われて入会しました。入会して20年になります。
- ② 今、元気でいられるのも健康あつてのことなので、これからも健康でいられたら幸せです。
- ③ 軽い運動、ペタンクやったり、長寿会に出て友達とお話することが健康の秘訣です。
- ④ 好き嫌いは全くありません。お寿司が大好きです。
- ⑤ 草むしり

松沢地区 広田 敏則さん

- ① 会員の皆さんが、年齢を感じさせないほど元気に、色々な職場で活躍されていたので、自分も入会しました。
- ② やりたいと思った事は、何事に対しても前向きに行動していきたい。
- ③ 健康に留意して、年齢に応じて無理なく日々の生活を送る。
- ④ 果物、漬物
- ⑤ 家庭菜園、パチンコ

殖生地区 一木 順子さん

- ① 3年前友達に誘われて入会しました。
- ② 年齢のこともあり、身体の健康、心の健康を考えながら充実した毎日過ごすことです。
- ③ 毎日散歩をしながら健康管理をしています。
- ④ 好き嫌いなくみんな好きです
- ⑤ ウォーキング

松沢地区 上山 登喜夫さん

- ① 年齢がシニアに達したのでいい仕事があればと思って入会した。
- ② こうして元気に生きられるのも健康であるからなので、一年健康で生きられれば一番いいです。
- ③ 自然のままに身体を動かすこと、自分の好きなことをすること。
- ④ 嫌いな食べ物ははありません。特別好きな食べ物はありません。
- ⑤ 本を読むこと。

今年
「年男・年女」
を迎えられた
会員の皆様に
お聞きしました!!

- ① シルバーに入会された動機
- ② 今年の抱負
- ③ 日頃より健康に留意していること
- ④ 好きな食べ物
- ⑤ 趣味



会員の

シルバー人材センターの会員になって

松沢地区 寺田 孝則

早いもので、私がシルバー人材センターの会員になって一年半になります。「就業」、「生きがいの発見」を目的に入会させていただきました。

就業では、今までスポットとして「駐車場整理」、「お墓掃除」などを、継続業務では「環境センター受付」を行っております。各々一見簡単そうな仕事ですがそれなりに特別な業務で、諸先輩方のご指導を得て今までなんとかこなしてきました。特に環境センター受付業務は一か月あたり8日、9日ですが、近年の「新型コロナウイルス感染拡大」で多くの人の在宅時間が増加し、結果、各家庭のゴミの整理が多くなりセンター内業務が日々忙しいなっております。また、現金を取り扱っておりますので、瞬時のおつりの計算が必要で、日々老化が進んでいる私の頭をフル回転させています。

今後、自分自身のスキルアップを狙い各講習会などに積極的に参加していき、更に幅広い就業に関われるようにしたいと思っています。

さて、今年度は「小矢部市シルバー人材センター」が法人設立30周年の年で、先の10月には記念式典開催、記念誌の発行、そして会員作品展が催されました。

私は特に作品展に大きな感動を受けました。玄人顔負けの素晴らしい「書」、「絵画」、「写真」、「工芸」など多くの作品が並び、達成感が十分満たされた「生きがい」への情熱を深く感じました。現在、私も「陶芸」、「ピアノ演奏」に興味があり、生きがいの一つとして少しずつ練習をしています。まだまだ他の人に「○○を行っていい。習っている。」と言える実力は有りません。この度の皆様の作品のように、少しでも早く公表出来るようになりたいと思います。

今後とも入会時の目的を忘れずに、与えられた仕事に責任を持って人生百年時代に向けて活動して行きたいと考えています。

シルバーの日

令和3年10月6日

今年度は雨天のため、ボランティア活動は中止となりました。交通安全講習会については、高内安全管理委員長から、今年度の市内死亡事故や就業先での交通安全についての説明がありました。



ちょっとひと息コーナー

就業先訪問「空き家見回り」

シルバーおやべでは、会員相互の就業状況を知ってもらうため就業先を訪問して、皆さんの活躍ぶりを紹介するコーナーを企画しました。

今回は「シルバー空き家見回り」の就業現場を訪れました。吉田外茂治さんが、建物の外側からチェックシートに基づいて異常がないか点検しました。主なチェック項目は、玄関戸や窓の施錠の有無、外壁・屋根・雨樋・屋外水栓などの状況確認、雑草・庭木の繁茂の状況、付属建物の点検などです。訪問した当日は2件見回り、その結果は事務所のパソコンで報告書を作成して完了しました。

吉田さんからは、「空き家は、少子高齢化などにより年々増え社会問題となっております。そうした中で、点検結果を持ち主の方や依頼主の方にお知らせして少しでも解決に繋がればやりがいを感じます。」とのコメントがありました。



会員寄稿

一昨年の暮れ、中国の武漢から発生した新型コロナは瞬間に世界に広がり、WHOは「COVID-19」と命名、全世界にパンデミックを発令した。それから2年が経過したがウイルスは変異しながら猛威を振るい、今や世界全体で2億5000万人が感染し、500万人以上の方が尊い命を失い、パンデミックは今も続いている。

日本では昨年の春、クルーズ船の乗客から発生、当時の首相はいち早く学校の休校や緊急事態宣言の発令、国民全員にマスクを配布するなどの対策を実施したものの第一波、二波とこれまで五波の流行が発生、一時は全国で1日2万7000千人を超える人が感染するまでになった。その後、ワクチン接種や三密(密集・密閉・密接)の回避、マスクの着用など感染予防の徹底より、感染者は激減したもののいつまた第六波が発生するか判らない状況である。

私の妻は若年性アルツハイマー型認知症を患い、介護施設に入所して3年になる。最初の一年は、ほぼ毎日面会できたが、ここ2年間新型コロナの発生により、面会禁止となった。面会できてもガラス越しにしか面会できない。流行が下火になった今でも、面会は出来ない状況にある。いつ、以前のような面会ができるか全く分からない。

今年は、新型コロナの感染が落ち着き、国民全員がコロナ前の様な生活が一日も早く来ることを願うのみである。

互助会だより

足立美術館と出雲大社参拝

増生地区 上埜 玉紀

ただ嬉しかった。何十年この方抱いていた、「神々の集った」という出雲大社をこの目で確かめたい。地上高48mもの神殿の柱が発掘されたところを是非見たい。何か行く機会が無いものか。」との思いが叶ったのだから。一昨年の春には、隠岐の島へ行くことにしていた。その時が出雲大社参拝のチャンスと思っていたがコロナで中止。「縁がないのだ」と自分に言い聞かせた。しかし、諦めずに待った甲斐があった。昨年夏の会報誌「シルバーおやべ」の互助会だより「会員親睦旅行」の案内が目に残り、何の躊躇もなく直ぐに申し込んだ。しかも今回の旅程は、足立美術館のお庭も見られる。こんなに願ったり叶ったりなことはない。

前置きはさておき、11月11日、憧れの出雲を目指し、バスで小矢部を出発。足立美術館見学の後には玉造温泉でゆったり寛ぎ、出雲大社参拝前の禊ぎ(しそぎ)を済ませた気分が就寝翌日、12日の朝は、稲佐の浜(「稲佐」のいわれは、国を譲るかどうか諾否(だくひ)を迫った事から、諾否(いなせ)が稲佐になったとか)へ。豊玉毘古命(とよたまひこのみこと)を祀る祠の下で砂を掻き採った。この旅の一番の目的地である出雲大社では、御本殿に参拝した後、境内で最大のパワースポットと言われ、八岐の大蛇退治(やまたのおろち)で有名な素戔嗚尊(すさのおのみこと)が祀られる素戔社(すさのやしろ)にお参り。素戔社は、御本殿の背後に聳える御神体「八雲山」の麓に位置し、人によつては強い神気を感じると言われている。そこで、稲佐の浜で採った砂を床縁下に置き供え、先に置いてあった砂を少しだけいた。実のところは、私がお参りする前に誰かが供えたものか、従来からあるものかは定かではないが、御利益を信じて持ち帰り、自宅の敷地に撒いた。

「アゴ」というトビウオの呼び方は山口県〜富山県までらしい。その昔、出雲の大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)が越の国を統治したといわれている。その名残なのだろうかとの確認も含め、古事記をもう一度読み直すという縁に恵まれた。兎に角、「神々の集った」という出雲大社、「地上高48mもの神殿の柱が発掘された」という出雲大社」をこの目で確かめることができ、とても有意義な旅だった。ただ悔やまれるのは、出雲大社で何もお願いしなかったこと。

今後もしルバーで健康を維持し、前向きに過ごしたい。出雲との次の縁を信じて。



足立美術館 庭園



出雲大社 御本殿前

シルバーウォーキングに参加して

正得地区 小倉 小夜子

秋晴れの日、楽しみにしていた互助会主催のウォーキングに参加しました。今回のコースは、南谷公民館を出発～安楽寺観音堂～金峰坂の石柱碑～旧国道の跡～林清則邸の広場(旧北陸本線が通っていた所がみえる)～俱利伽羅新道(明治天皇御巡幸の為作られた)～高田邸の八重桜～天田峠～南谷公民館のコースおよそ6キロメートルを、25名の参加のもと、開催されました。当日はガイドを務められた「おやべメルヘンガイド」の橋本さんの説明がとても分かりやすく、私たちの先祖がいかに大変な思いをしておられたかを窺い知ることができました。

特に、北陸線が石動駅から俱利伽羅トンネルの勾配がきつく石動駅に戻ってしまう事故が多くあったので、(私にすればつい最近の事に思える)昭和16年から30年にかけて鉄道の掘り下げ工事が行われ俱利伽羅トンネルが完成、昭和37年に複線化工事が完了したことを知りました。まだまだ知らないことが沢山有りそうです。

これからも健康で過ごしたいので、体力作りを兼ねたシルバーの事業をどんどん企画していただきたいと思います。



ほのぼのコーナー

北蟹谷地区 寺嶋 幸敏 会員



今回は菊の盆栽を20年近く手がけていらっしゃる、北蟹谷地区の寺嶋幸敏会員をご紹介します。

以前旅行で大阪城を見学した際、そこに飾ってあった菊の盆栽に魅せられ、虜になったのが始まりだそうです。

以来20年近く。菊の盆栽を手がける仲間が少なく、専門書を購入したり、図書館通いをして独学で勉強を続けてこられ、何度も失敗もしたりで、毎年毎々が研究の積み重ねだそうです。その年により出来不出来もあり、大変難しいとのことですが、今は地域の催事などへも出展要請され、応じていただけるそうです。

現在菊の盆栽が5鉢、その他の盆栽を含め20鉢以上手がけておられるとのこと。

1年間の流れとしては、前の年の9月頃から新芽の挿し木から始まり、冬場の雪の下の管理、4月になっての植え替え、不要な芽の摘み取りや茎の這わせ方、害虫や肥やし水管理など、11月の開花まで1年以上の時間をかけていらっしゃるとのこと。

盆栽以外では野菜作りにも精を出され、シルバーでは剪定作業に携わっておられるとのこと、毎日元気に忙しく過ごしておられ、健康の秘訣は？とお伺いしたところ、「健康の秘訣ではないけれど、一日一日怪めなく元気で終え、一日終えた夜の晩酌が最高の楽しみやちゃ」とにこやかに語っておられました。

寺嶋さんの菊の盆栽は毎年11月中旬から約1ヶ月間シルバー事務局入り口にも展示して頂いており、会員の皆様には来年も楽しみにして頂ければと思います。

(取材：広報・イメージアップ委員会 谷 博道)

KNBラジオ「でるラジ」にて 小矢部市シルバー人材センターをアピール!

令和3年11月12日(火) KNBラジオ「でるラジ」にて、会員の谷博道さん、橋本政子さんが生出演し、小矢部市シルバー人材センターを宣伝されました。放送は午後12時30分から始まる生放送番組「でるラジ」内での午後2時45分ごろの約15分間でした。

お二人は放送中「シルバー人材センターに入ったきっかけ」や「入って良かったこと」、「携わっている仕事」「入会を迷っている方への勧誘の一言」など話されました。

またちょうど30周年式典間近の時期でもあり記念式典の案内もされました。

放送を終えたお二人の感想は、「うまく話せたかわかりませんが、貴重な経験をさせてもらいました。」「木下アナウンサーの話の誘導には感心させられました。」「局内も見学させて頂き良かった。」などと話されていました。

お疲れ様でした。



行事案内

・地区懇談会

【とき】 2月中に開催
【場所】 各地区 (5箇所)

・安全就業講習会

【とき】 3月11日(金)
午後2時から
【場所】 クロスランドおやべ
メインホール

※詳細は別途ご案内いたします。

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる場合があります。

あとがき

令和4年を迎えました。皆さんいかがお過ごしでしょうか。昨年、一昨年と新型コロナウイルスに翻弄されました。そんな中でも昨年は、2020東京オリンピック、パリリンピックが開催され、テレビを通じて観戦し、アスリートの活躍ぶりに一喜一憂したものです。

また、当センターの設立30周年記念式典は無事挙行されました。この節目に出会えたことは、これまでこの組織を繋いでこられた諸先輩や、事務局のおかげであり、感謝しがありません。功績の賜物に尽きると思います。

私達、広報・イメージアップ委員会は、文字とあり各種活動を通じてシルバー人材センターのイメージアップに務めたいと考えています。

会員の皆さんには、寒さに十分注意されるとともに、新型コロナにも気をつけていただき、健康で、素晴らしい一年となることをお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願いたします。

広報・イメージアップ委員会

委員 吉田 外茂治